



## CLLクラブ会報 2017年9月号

Vol.170 発行日 2017年9月1日  
チェンマイロングステイライフの会  
ヒルサイドコンド4、2階（ロビーの  
階）215号室  
事務所 Tel:053-217572  
ホームページ <http://cll-thaijp.net>  
監修：世話人会 発行：広報部  
本誌からの無断転用をお断りします。

### アヌサーン・ストーン聾学校の「日タイ友好祭」

広報 石塚 康紀



8月9日アヌサーン・ストーン聾学校にて、学校創設以来初めての「日タイ友好祭」が行われました。

これは今年5月に赴任された高石淳一先生のご発案で、西九州大学で児童教育学を学んでいる学生達がスタディーツアーでタイに来るのを機会に、お互いの交流のみならず日本文化紹介の場を設け、理解を深め合おうと企画されました。

当日は聾学校の幼稚園児から高校生までの約250名の生徒と、市内の盲学校などの支援学校4校の生徒さんも招待されての催しとなりました。

8時半からの開会式では、日本総領事館の青木領事や県の教育関係者などの来賓の挨拶がありました。そのあと聾学校の生徒によるタイ伝統文化の太鼓や舞踊、幼稚園児によるダンスが披露されました。幼稚園児のリズミカルなダンスは微笑みを誘うとともに感動的でもありました。引き続き西九州大学の学生による、よさこいソーランが披露されました。初めは学生だけのものでしたが、二度目は聾学校の生徒が加わり大変に盛り上がりました。

開会のセレモニーの後は、先生や生徒さん達が折り紙教室・茶道披露・浴衣着付けなどで日本文化を体感されていました。他の大学での日本祭は、どちらかと言えば自分たちが学んだ日本文化を、他の人達に教えたり披露する場となっていますが、ここでは自分たちが日本文化を初めて体感する場となっていました。その為、初めて接する戸惑いや感動を目の当たりにしたことが何よりも新鮮でした。なかでも浴衣着付けでは、生徒よりも先生方が浴衣を着せてもらい、その自分の姿に悦にしている姿には、自然と頬が緩んでしまいました。

また食堂では、定住者集いの会の人達による餅つきや、西九州大学の学生たちが作る日本式の焼きそば・そうめん流しがあり、多くの先生・生徒たちが舌鼓を打っていました。ここでも先生方が杵をついての餅つき体験を楽しんでおられる姿はほほえましいものでした。

高石先生のご苦勞も大変だったでしょうが、聾学校の先生・生徒たちの笑顔を見ていると大成功だったように思います。

ご協力頂いた皆さん有難うございました。



## &lt;2017年 8月 5日(土) 第一定例会&gt;

場所：チェンマイ・オーキッドホテル2F、 参加者：51名（ゲスト6名含む）

会員動向：個人会員142名、法人会員11社

**佐原副代表挨拶**：日本では50年ぶりと言うような豪雨が頻発する異常気象ですが、加計学園問題、大臣の問題発言による内閣支持率低下をうけての内閣改造がおこなわれました。マスコミは早速新大臣の20年前の“女体盛り”参加疑惑を報じています。日本財政の金の流れを追求し、2002年に暗殺された民進党の石井紘基議員がおられましたが、このような議員が今おられれば、日本の政治の流れも少しは変わったかも知れませんね。ラチャパット大学の日本祭で、日本文化指導や発表の審査員をされた会員の皆様ご苦労さまでした。ベトナム旅行を実地して頂いたレインボートラベルさんありがとうございました。8月25日(金)にCLL事務所に講師をお迎えし「スマホ・タブレットなんでも相談会」を実施します。海外に暮らしていると、スマホ・タブレットの活用は必要かと思えます。今後も各種計画を致しますのでご協力をお願いします。

## 【テーブルトーク・定例会活性化に向けての意見聴取】

6テーブルで、例会の適正回数、講演内容などについて各々話し合っていました。集約したものは、後日ご報告させていただきます。

## 各部報告

**広報部**：①8月15日の「チェンマイ戦没者慰霊祭」に、CLLからバンガード、ムーンサーン両会場に寄付をさせていただきます。

②イサーン地区で、7月末に台風による水害で大きな被害が発生しました。これに対しヘルピングハンドチェンマイ財団が募金を呼び掛けています。

**その他**：チェンマイ定住者集いの会の乗鞍氏より、チェンマイ戦没者慰霊祭への参加呼びかけ。

## &lt;2017年 8月 19日(土) 第二定例会&gt;

場所：チェンマイ・オーキッドホテル2F、 参加者：41名（ゲスト3名含む）

会員動向：個人会員144名、法人会員11社

## 新入会員紹介

**鈴木代表挨拶**：チェンマイ大学病院に日本クリニックを立ち上げる計画があり、その事前調査で日本医科大学の関係者や事業主体の企業から、各日系団体にヒアリングがされました。私から要望した事は、「我々の多くは、手術を要する等の大きな病気の場合は帰国するが、急を要する心臓疾患・脳疾患等は当地で治療せざるを得ない。従って日本クリニックの立ち上げでは、急を要する治療部門を優先して頂きたい。」次に医師から膵臓がんの早期発見について聞いたのですが、血液検査での発見は容易ではない。初期症状として背中に痛みが出る。従って背中に痛みが出れば膵臓がんを疑ってCT検査等を希望すると良い。この場合は治療行為なので保険適用になるとの事です。これより「新ビザ発給に必要な医療保険」について講演して頂きます。このビザの要件である預金額300万Bやタイの医療保険加入義務等について、我々日本人ロングステイヤーにとって、メリットが少ない割にはハードルが高くて現実的でないと考えます。どの様に改善したら新ビザを取得する気になるのか？ 新ビザの詳細が判明した時点でアンケート調査を検討していますので、ご協力をお願いします。アンケート結果はタイの関係機関に伝えます。

**講演**：「タイ10年(5年・10年)ビザ(O-X VISA)申請について」

～タイの保険制度と10年ビザ加入について～

**講演者**：①ウッタヤー クローンサップ氏（AIA保険上級顧問シニアコンサルタント）

## ②CLLビザ研究会

現在のタイの保険は70才までしか加入できない。平均寿命などに違いのある各国のロングステイヤーや新ビザの発給条件に適應できる保険について、保険業界は内務省や厚生省と協議しているところです。

## 各部報告

**文化部**：・ぬかみそ作りワークショップは、8月31日迄募集をしています。

**業務部**：・健康診断の9月分申し込みは本日迄です。お忘れないうちお願いします。又、10月分の申し込みは9月第一、第二定例会で受付けます。多数の方の受診を希望します。



## ヨーロッパ 3,000 km レンタカーの旅 (2)

会員 瀬田 清史

2 日目に妻が運転することになった。車があまりにも大きい為、いきなり公道を走れないので、ホテルから 30 分ほど離れた池の周りで練習する。ここにはあまり車は来ない。初めはノロノロ運転でも「怖い、怖い」を連発していたが、やがてなんとか走れるようになるとそれで自信を持ったのか、その池からホテルまで運転して帰るとおっしゃる。僕は助手席で緊張の為、手には汗握り、両足が突っ張ってくる。長〜い 30 分だったが、なんとか無事に帰れた。極度のストレスと両足を踏ん張りすぎた為か、翌朝起きると・・・ウッ！！・・・ギックリ腰になってしまった。なんとか歩けるし運転も出来るので、痛い腰をかばいながら旅行を続行。男は辛いよ・・・

3 日目はポーランドのバウブジフへ妻と交代しながら 6 時間のドライブ。妻はかなり慣れてきて、狭い道で対向車とのすれ違いは僕よりうまい(クソッ!)。ハイウェイでは鼻歌を歌い、脇見をしながらの運転。「あら、まだ 100km しか出ていないわ!」と、グッとアクセルを踏み込む。もう 140km だよ〜 腰が・・・腰が更に痛む。。。。。

バウブジフのアパートに 6 泊。ここにはピアノがあるので練習が出来る。妻の練習の間に、僕は街をウロウロしたり、ドライブしたり、裏の森を散歩したり。ヨーロッパの 5 月は最高の季節。台所があるので食事の支度は僕の仕事。パンがとても美味しく、物価はチェンマイよりも安い。人はとても親切で穏やかで美人が多い。次はこの街に住もうかと、かなりその気になった。

6 月 1 日にはクラクフという世界遺産の街の近くで妻のコンサートがある。休憩しながら 6 時間。パイプオルガンとスタインウェイのピアノがある音響の素敵なホールでのソロ・リサイタルは、スタンディングオベーションが長く続き大成功! 来年もコンサートに呼んでくれそうな感じだ。その後、寄り道しながらスロバキアの首都ブラチスラバへ。この街からウィーンまでドナウ河を船で 1 時間半で行ける。ウィーンでコンサートを聞いたかったが、残念ながら今回は見送る。

最後に、この街からウィーンの近くを走り、オーストリアを横断してミュンヘン空港へ 8 時間。空港で、再びポーランドへ飛ぶ妻を見送り、レンタカーを返し、僕は一人で先にチェンマイへ。

今回、二つのバレエ「アンナ・カレーニナ」と「ロミオとジュリエット」を見た。「アンナ」は若い人妻の不倫を、「ロミオ」は若い二人の愛をテーマにしているので、踊りがなんとも艶めかしいというか、表現がストレートで見ていて気恥ずかしくなる。アンナが次第に気が狂い列車に飛び込む場面や、ジュリエットが毒を飲む場面は圧巻。鳥肌が立った。オーケストラもすごい。こんな豪華なバレエが 2,000 円〜3,000 円で見れる。子供や年配の観客も多く、歴史と文化の違いを実感した。

全行程約 3,000km(東京から北九州市まで約 1,000km)、実走行時間 35 時間、燃費 16km/l。ドイツ→チェコ→ポーランド→スロバキア→オーストリア→ドイツを二人で 15 日間走りまわって交通費は約 11 万円だが、時間を気にせず気ままな旅行が出来た。感じた事は「ヨーロッパは狭い!」すぐに隣の国へ行ける。特に東ヨーロッパは、大自然との一体感、美人が多い、安い物価、人が穏やか、美味しい食事等の魅力が満杯。来年は今回行けなかったドイツの有名なノイシュヴァンシュタイン城へも行きたい。



「私って凄いな〜!」と、今回 1,000km 近く運転した妻は自画自賛。

「来年は一人でまわろうかしら?」・・・僕はチェンマイへ置いてきぼり??。。。。。

## 日本の介護保険制度 (2)

神奈川県立保健福祉大学名誉教授 澤田 信子  
(文責 社会福祉士 澤田 順夫)

### 4. 日本の介護保険制度に関わる問題点

#### 4.1 2025年問題に向けて介護人材養成の継続

澤田信子は旧厚生省で介護技術専門官として人材養成に携わり、この制度の実施前に介護人材養成のために「今、あなたに求められる介護～介護保険制度を担うために」を著した。また介護保険を広く専門家、特にケアマネージャ向けに図解入りの「よくわかる介護保険制度～イラストレイテッド」を出版し版を重ねてきた。近年、認知症介護に向けてこの制度の利用者向けの企画が(株)G.B.からあった。その監修を引き受け「磯野家の介護」として出版した。電子書籍 kindle 版(アマゾン)もあり海外からでも容易にアクセスできる。

団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年には、介護人材の養成が大きな社会問題になる。2000 年当時日系人に人材を求める意味で、南米の日系社会の高齢者介護について調査研究を行った。南米の日系移民は辛苦をなめて、子供を育てた。そのコミュニティでは高齢者を大切にす文化があり、高齢者介護の担い手としてふさわしいと感じた。

その後病を得て、がん患者の当事者として医療・介護を見つめなおす機会を得た。闘病生活後初めて訪れた中国雲南省、なかでも辺境の地の少数民族の生活習慣に介護の知恵を多く学んだ。足掛け 10 年程四川・貴州省を含めて、毎年中国の少数民族を訪れ調査を続けた。

社会主義国の言語政策の影響か、中国やベトナムでは少数民族はそれぞれ自治州が与えられたり、民族の伝統と言語が尊重されたりしている。タイ国の故郷であるシーサンパンナにはタイ族自治州があり、景洪市が州都である。しかし、近世に中国からタイへ移動してきた山岳民族には、そのような自治は認められていない。むしろタイ族への同化が求められているようである。また、東南アジアの中でもタイは高齢化が急速に進み、介護人材の育成が課題になっている。近代化があまり進んでいない農村のタイ族や山岳民族には、高齢者を尊重する風習が残り、高齢者介護の人材としての可能性が期待される。

#### 4.2 最近の放送メディアで特筆すべき内容

##### 1)NHK 番組 # 認知症社会 ～誰もが安心して暮らすために 2017年3月26日放送

認知症対策の例では、いわゆる地中海食の勧めや早歩き運動など、軽度認知症の進行を遅らせる試みが紹介されていた。社会福祉でいう outreach (出前福祉)も一部で行なわれている。

オランダの「ビュートゾルフ」という組織が、介護で実績をあげている。一人の職員がすべてを任せ、分業体制を無くすことでコストを削減できる。そして、職員のモチベーションもアップした。このような地域密着型のケアをもっと増やせば、介護の好循環に繋がる。最後にアンケートで「認知症になっても安心して暮らせる社会」が「実現できない」と答えた人が 61%であった。

##### 2)NHK 認知症ケア ユマニチュードは地域を変えるか? 2017年4月26日放送

ユマニチュードは認知症の人とのコミュニケーションを改善させるケア技法である。介護施設や病院のスタッフや市民に習得させ、その効果を検証する福岡市の試みを紹介している。ユマニチュードについてはイヴ・ジネストさんの著書に詳述されている。

##### 3)NHK 介護離職 こうして切り抜けました(24時間訪問介護)2016年7月6日放送

現在、介護離職者は年間 10 万人である。24 時間の訪問介護では、ヘルパーが毎日、何度も自宅を訪問する。要介護 5 の場合、自己負担の割合は 1 割、月に 3 万円程度である。このサービスで夜間介護の問題も解決でき在宅生活を継続できる。しかし、このサービスの事業所がない市町村は 8 割近くで、1 つも事業所が無い県もある。

##### 4)NHK 介護殺人 2016年7月3日(日)放送

普通の人介護疲れの果てに 家族の命を奪ってしまう悲劇が相次いでいる。在宅介護経験の 25%が介護殺人を思いついたことがあると答え、また介護殺人は介護を始めて 1 年以内に 4 分の 1 が行われているとの統計が示されていた。特に男性に多い。



## 5) 「あらゆる枠組みを超えよ！」 2017年6月26日放送 NHK 100分で名著「維摩経」第4回 釈徹宗

老いて孤独を避けるには、意識的にコミュニティに関わって暮らすように心がける。これを「縁起の実践」と呼ぶ。縁があれば関わり、縁が無くなれば離れる。これを「空の実践」と呼ぶ。この(法の)両輪を回すことにより高齢社会で真に自然な生き方が可能と説く。かつて、地域共同体では互助関係により心身を鍛えられていた。近代化・都市化では個人はその殻を硬くしてきた。しかし、高齢社会では自己のバリアを低くして、他者にゆだねて依存する心身を育てる。そのような生き方を「お世話され上手」と呼ぶ。

従来社会資源として人、物、金が挙げられてきた。日本の人口ボーナス期は1990年頃に過ぎた。人材面、資金面で今後好転することは期待できない。しかし、高度情報化社会では、情報及びその利用に無限の可能性を秘めている。

InternetやAndroidの世界では無償が前提である。このようなツールを駆使することにより(福祉)コミュニティを再構築する展望がある。金子郁容「ボランティア～もう一つの情報化社会」で広い意味の情報とボランティアの共通性をバルネラブル(傷つき易い)という概念で説明している。弱い情報が自発的にネットワークすることにより意外な力を発揮するという。

CLLの活動もこのようなコミュニティ活動の一環として捉えられる。(発表に使った資料や文献は電子メディアでCLLに提供し、二次利用を可能にしている。また、直接メールなどで連絡をいただければ、介護技術を含めて対応いたします。)

### 5.おわりに(社会福祉学的考察)

これまで、介護を利用者と介護者の二者の関係としてとらえてきた。しかしそれでは、介護の社会的性格が十分とらえられない。そればかりではなく、その社会問題の解決の糸口も見出せないで、袋小路に陥っている。世間や家族の呪縛には、二者の介護関係を見る冷ややかな第三者(媒介者)の視線が隠れている。介護者は「感情労働」としてバーンアウトに陥りやすい。その性格は、感情を抑制させる自己と本来の自己との分裂との悩みであろう。

さらに、精神の障害は「基本的人権」の問題に一層深くかかわっている。増加しつつある高齢者の認知症に対しては、患者個人の問題とともに、その社会の受容の課題が深くかかわる。その点では、精神障害者の社会的受容や、社会復帰などに関係し、近代的な社会のあり方までも問われることになる。

このような社会関係の処方箋は、第三者(媒介者)の影響を十分に意識化することであると、作田啓一は「個人主義の運命」の「終章 個人主義のゆくえ」で述べている。媒介者のありかた(モダリティ)として、助け手—ライバルなど6つあげられている。バーンアウトに対しては、ケアする人を孤立させないための仕組みをつくるという「助け手」が構想される。

家族規模が縮小し、介護を家族のみで担うことは、益々困難になってきている。認知症に対する社会の受容には、周りの社会が監視する集団から見守りの集団になること。第三者(媒介者)のモダリティがライバルから助け手に変化することが求められる。

介護の仕事は確かに3K的な面がある。しかし、本来人間の本性として支えあうという本性がある。お互いに生かされているという「縁」で繋がっていることを、少数(山岳)民族の共同体が素朴な形で教えてくれている。子どもの養育と高齢者の介護・看取りは人生の重要な通過儀礼と言っても過言でない。そこでは、「浄不浄」の分別を超えた知恵があり、介護の3Kとネガティブに看做する面を超える境地がある。長年に渡る介護において、人間の受身の本性(パトスの智)を体験した人には、癒しの術(アート)としての介護がたち現れてくるのである。(完)

### 略語説明(横須賀市「あんしん介護保険」による)

- 「特養」 特別養護老人ホームの略 常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が入所して、日常生活上の支援や介護が受けられます。
- 「老健」 老人保健施設の略 状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションや介護がうけられます。
- 「療養病床等」 長期の療養を必要とする人のための施設で、医療・看護・介護・リハビリテーションなどが受けられます。

## チェンマイ戦没者慰霊祭

### 【バーンガート・ウィタヤーコム中高校会場】

広報 佐原 勝美



チェンマイオーギットホテルに集合し、ソンテウに相乗りして約 50 分で会場に到着。受付を済ませ、約 1 万 8 千名の遺骨が納められている慰霊碑、昭和天皇の御詠が刻まれた大梵鐘を見学したあと、生徒が一行に並び出迎えてくれるなかを式場に入った。

実行委員による式辞のあと、日本での戦没者追悼式の時刻に合わせて 1 分間の黙祷。日本国歌斉唱、タイ国歌斉唱のあと、在チェンマイ日本国 川田総領事や来賓の方々の挨拶があった。

焼香・献花、「ふるさと」合唱、実行委員の閉式の辞の後、記念撮影が行われた。参加者は 71 人。

この地に眠られる日本人戦没者の方々の冥福をお祈りするとともに、当時、心優しく接して頂いたこの地のタイ人の方々に心より感謝し、戦争は二度とおこしてはならないと、あらためて強く思った。

帰りにソンテウに相乗りし 12 時過ぎにチェンマイに到着した。

### 【ムーンサーン寺院会場】

広報 高萩 政明



追悼式は 8 月 15 日（月）曇天のなか、チェンマイ戦没者慰霊祭実行委員会主催で午前 9～11 時にチェンマイ・ムーンサーン寺院において 106 名の参加で行われた。当寺院は、日本軍の野戦病院があったところで当時使われていた井戸が現存している。式は東京の日本武道館で行われている戦後 72 年、第 55 回全国戦没者追悼式典のテレビ映像と同時進行で進められた。

今年度からタイ人向けのパンフレットも作成され、タイ人の参加者も多くあった。CLL の会員も受付係、実行員を担当して式典を盛り上げていた。来年はもっと多くの会員参加のもと、戦没者追悼とタイ人との友好交流をしませんか。

## 病院の通訳さんへのインタビュー ③



今回はランナー総合病院の野澤 潤さんに、広報徳田と石塚がお尋ねしました。



……チェンマイに来られて何年ですか？

- ・19年になります。

……チェンマイに来られたきっかけは？

- ・大学時代に、タイからの留学生と友達になり、タイへ旅行するうちにタイ語にも興味を持ちました。そしてタイへの語学留学を1年、その後チェンマイで地域研究についての修士課程を5年。卒業後は旅行会社、日本語教師の仕事をしてきました。

……この仕事をされるきっかけは？

- ・妻の入院中に患者と医師の間に入って問題解決をしてくれる人の気遣いや、重要性を強く感じました。その時の経験が、病院での通訳を仕事としてやっていきたいと思った一番のきっかけです。

……この仕事をされていて、やりがいを感じるのはどんな時ですか？

- ・患者さんに、良かったと満足していただいた時が嬉しいです。また病気やケガでも無いのに、声を掛けに寄ってくださったり、手作りのお料理を持参していただいた時は、通訳と患者さんとの関係を越えたつながりが感じられ、大変に楽しく嬉しいです。

……休日に楽しまれていることは？

- ・一応休みは土曜の午後と日曜日ですが、医師と患者さんとのコミュニケーションを必要とする時は出勤します。でないと私が通訳として居る意味がありませんので。  
この仕事をしだしてから自身の健康管理に気をつけるようになりました。その一つとして、院内での移動は出来るだけ階段を使っています。  
土・日曜日は病院以外で日本語を教えています。休みなしですが、好きなことなので楽しんでやっています。

……普通の通訳と違って医学用語が入ってきますが、大変では…？

- ・辞書は常に持ち歩いています。今でも毎日が勉強です。上手く通訳が出来たのかな？と思った時はしっかりと調べ直します。そうすることで病気や薬の新しい知識が増え、その後のコミュニケーションが楽しみになります。

……CLLの読者になにか一言。

- ・自分の仕事のスタイルとしては、患者さんは他人ではありますが、親族以上・身内未満という気持ちで接し、ベストを尽くしてお手伝いしたいと思っています。  
病気や病院のことなど何でもお問い合わせいただけたら嬉しいです。出来る限りお答えいたします。  
私の携帯電話は、病院の時間外であっても何時でもご連絡頂いて結構です。

☎ 081-595-0055

E-mail: lanna.crd@gmail.com







## アヌポンさんの「タイの習わし」 ⑦

月に 月見る月は 多けれど  
月見る月は この月の月



### 今年の十五夜！は いつでしょうか？

毎年9月頃から中国のお菓子、月餅（ムーンケーキ）を売り始めます。秋になるとお月見の行事がありますが、その伝統行事を大切に維持している家は現代では少ないかもしれません。

タイにも満月を祝う行事があるのですが、中国から移住してきた華僑の人たちのお祝いとして広まったものです。主にチャオプラヤー川の両岸に暮らしていた華僑の人によるもので、バンコク、アユタヤ、ナコンサワン、そしてチェンマイで賑やかに祝われています。

この十五夜の時に食べるのが月餅です。これも中国文化が広く根づいている表れです。タイで見られる月餅と中国のものとは、月に見立てた丸く平たい形は共通ですが、大きさ・材料・中に詰める餡などに違いがあると同時に、いわれについても諸説があります（各地のチャイナタウンやスーパーマーケットで購入できます。）。

中秋節は陰暦8月15日、新暦の10月4日に（日本では9月15日）満月を祝うお祭りで、日本では十五夜のお月見にあたります。古来この日は月が最も地球に近づき、大きくて明るく美しい満月が見られるとされています。中秋節のいわれには、「十五夜には、お月様の中にうさぎが餅をついているの見える。」という昔の中国の伝説がありました。また月見団子の他にもお供え物が色々あります。今年、故郷の家に行ってお月見をしようとする方も、日々の疲れを忘れる為にゆったりとお月見をされる方も必見です。

### タイの十五夜（中秋）は10月4日（水）です。

チェンマイの月見は陰暦12月15日の満月ですので、今年は11月3日です。「ロイカトン灯籠流し祭り」と言う賑やかなお祭りです。しかし残念ながら、アメリカのニール・アームストロングが人類で初めて月面に降り立ってからこの行事の人気も陰り気味です……？！

## 新入会員のご紹介 自己紹介



やまもと やすひろ  
山本 康博 さん

出身地 大阪府大阪市

妻と子供3人。日本に家はありません。残っている人生を有意義に楽しくすごしたいと願っています。毎年、古湯と湯布院の映画祭に参加しています。チェンマイでも毎月2回ぐらい映画を見ます。



うえの としひこ  
上埜 俊彦 さん

出身地 和歌山県橋本市

旅が好きで本業の合間に旅行の資格を取ったりもしました。ロングステイは一度はしてみたいと思っていたのでとても楽しみです。小さな旅行を繰り返しながら、チェンマイライフも楽しみたいと思っています。



## CLL ゴルフコンペ 8月の結果



第172回 CLL ゴルフコンペは、8月24日ランナーゴルフ場で開催された。参加者合計は、25名(内ゲスト1名)。成績は、下記の通り。



### 次回月例会

- ・日時 9月28日(木) 集合 6時45分、スタート 7時00分
- ・場所 ランナーゴルフ場

順位	名前	OUT	IN	GS	HC	NET
優勝	永島 和雄	49	40	89	14	75
準優勝	小貫 憲	49	45	94	18	76
3位	大澤 正元	48	47	95	19	76



ベスグロ 花岡 榮さん (OUT 39, IN 39 = GS 78)

優勝 永島 和雄さん



### 2017年 9月 相談コーナー当番表



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					大石 好高 (パソコン相談)	第1例会 13:30~ オーキッドホテル2F
3	4	5	6	7	8	9
	西川 洋太郎 (広報会議)	河野 明子	花岡 榮 (タイ語教室)	樋口 玲子	勝川 正美	
10	11	12	13	14	15	16
	木村 正勝 (生活全般相談) (広報会議)	広瀬 洋子	広津 義夫 (パソコン相談) (タイ語教室)	鈴木 康司 (ビザ・カード保険)	永島 和雄	第2例会 13:30~ オーキッドホテル2F
17	18	19	20	21	22	23
	内藤 久義 (iPhon,スマホ相談) (広報会議)	川地 邦仁子	酒井 家安 (パソコン・カード保険) (タイ語教室)	庄司 邦忠	佐原 勝美 (パソコン相談)	
24	25	26	27	28	29	30
	小森谷 孝夫 (広報会議)	高萩 政明	徳田 圭子 (タイ語教室)	小池 裕太郎 月例ゴルフコンペ	石井 重一	

赤字は専門相談員と内容を示します。

(注) 上記の担当は相談員の都合で変更される場合があります。



## 2017年9月度 CLL 行事予定表



広報部編集会議	毎週月曜日	13:30 ~ 15:00	CLL事務所
手芸同好会	毎週火曜日	10:00 ~ 12:00	CLL事務所
コントラクトブリッジ同好会	毎週水曜日	10:00 ~ 12:00	CLL事務所
タイ語勉強会	毎週水曜日	中級 13:00 ~ 14:20 初級 14:30 ~ 16:00	CLL事務所
英語同好会	毎週木曜日	15:30 ~ 17:00	CLL事務所
フラダンス同好会	毎週木曜日	14:00 ~ 15:00	CLL事務所
囲碁将棋同好会	毎週金曜日	13:00 ~ 17:00	CLL事務所
フォト同好会	毎週金曜日	10:00 ~ 12:00	CLL事務所
遠隔健康相談 ※	第1・第3金曜日	8:00 ~ 10:00	CLL事務所 (事前申込み要)
定例世話人会	第1・第3土曜日	10:00 ~ 11:30	CLL事務所
定例会	第1・第3土曜日	13:30 ~ 15:30	オーキッドホテル2F
コーラス同好会	第2・第4土曜日	10:30 ~ 12:30	センタン7F ミュージックルーム
ゴルフコンペ月例会	9月28日(木)	集合 6:45 スタート 7:00	ランナーゴルフ場

※ <遠隔健康相談> CLL事務所にて、スカイプ(映像と音声)を利用した対話形式で香川大学医学部の担当医師に健康相談を行うものです(相談時間: 1名30分)。相談希望者は、小森谷孝夫会員にメールあるいは電話でお申込み下さい。

### 9月定例会の講演内容等の予告

《第1定例会》9月2日(土)

- ① 「タイで安全に暮らすには! タイでの危機管理について」  
戸島国雄氏: 警視庁OBで「タイに渡った鑑識」、「警視庁似顔絵捜査官001号」などの著書があります。
- ② 「自然を楽しむ会 9月以降の旅行計画の説明」  
レインボートラベル アヌポン氏

《第2定例会》9月16日(土)

「江戸時代の京都の文化とアジアとの関係性」  
講師: 松川雅信氏 (チェンマイ大学)

- ・チェンマイ日本国総領事館 053-203367
- ・チェンマイ入国管理局 053-277510
- ・警察署 191
- ・ツーリストポリス 1155
- ・火事・消防署 199 救急車は 1669
- ・日本語対応メータータクシー  
ピアさん 081-8856547
- ・チェンマイ大学医学部附属シーパット・メディカルセンター 053-936504  
永江真智子さん 088-259-0959  
(日本人の日本語通訳)  
メイさん(タイ人の日本語通訳) 061-265-1515  
受付時間 月~金 8:00~16:00
- ・マコーミック病院  
シレーイさん 053-277510  
(タイ人日本語通訳) 053-921777  
受付時間 月~金 8:00~16:00  
土 8:00~12:00



電話番号便利帳



- ・ランナー総合病院 053-999751  
野澤潤さん (日本人の日本語通訳)  
緊急時・通常時の連絡先 081-5950055
- ・チェンマイラム病院 053-920300  
杉本あきらさん 053-920300  
青木裕子さん 同上  
グオさん(タイ人の日本語通訳) 同上  
ワンペンさん(タイ人の日本語通訳) 同上
- ・ラジャヴェーチェンマイ病院 053-801999  
佐々木良太さん・金森亮太さん・  
佐々木優子さん  
内線 777 095-134-6189  
088-257-2842
- ・バンコク病院チェンマイ 052-089888  
日本人コーディネーター  
坪原幸江さん直通 095-8682896  
受付時間 月~水・土・日 8:00~17:00  
木・金 9:00~15:00